



石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第147回(今年度第5回) 2025年10月23日(木)14:00~ 於: 石狩市民図書館



議 事

1. 議長挨拶

2. 経過報告

10月2日(木) 石事協研修会⑥、推進委員会議

10月16日(木) 2026年度学校配当予算にかかる配分調整調書に関する市教委との打ち合わせ

10月17日(金) 石教研第二次研究協議会

3. 協議事項

(1) 「配分調整」の各校状況と交流

予算の配分調整について今年度の各校配分調整の状況について交流し、今後の改善に結びつけます。(資料 別紙1)

①各校の特徴的なことの交流 (無ければ無いで構いません)

②市教委との話し合いから
口頭

(2) 保護者負担・公費化に関するとりくみについて

各校の状況について交流します。(資料 別紙)

(3) 2026「いしかり子どもアンケート」の実施に向けて(案)

2026「いしかり子どもアンケート」の実施を提案します。

このアンケートは、2026年7月に各学校での実施を想定しており、実施判断は各校の学校長に委ねられますが、ぜひその趣旨をご理解いただき、前向きなご検討をお願いしたいと考えています。

<これまでの実施と成果>

「いしかり子どもアンケート」は、2022年度に初めて実施され(2023年2月)、石狩市教育委員会・校長会・教頭会のご協力のもと、60%を超える回答率を得ることができました。

子どもたちの声からは、教室が「安心できる場所」として認識されていることや、トイレの老朽化、通学路の危険箇所など、学校環境に関する具体的な課題が明らかになりました。

2024年度は秋に実施し、9校が参加しました。実施しなかった学校でも独自のアンケート等を通じて子どもの声を拾う取り組みが行われており、「子どもの意見を学

校づくりに活かす」という意識が広がっていることが確認できました。

また、2024年度はアンケート項目を改善し、図書室や保健室を選択肢に加えたことで、より子どもの実感に即した回答が得られました。

タブレット端末や水道設備、トイレの衛生環境、エアコンの設置希望など、施設・設備に関する具体的な改善要望も多く寄せられました。

＜石狩教育プラン・石狩市子どもの権利条例との連動＞

石狩市教育プラン（2025～2029年度）では、「安全・安心な教育環境の整備」や「子どもの主体的な学びの支援」が重点施策として掲げられています。

また、2025年4月に施行された「石狩市子どもの権利条例」では、子どもたちが意見を表明し、参加する権利が保障されており、教育環境づくりにおいても子どもの声を反映することが求められています。

＜事務職員が提案する意義＞

事務職員は、学校施設や環境整備に日常的に関わる立場です。

だからこそ、子どもたちの声を直接受け止め、実効性のある改善につなげる役割を担うことができます。

この「いしかり子どもアンケート」は、子どもたちの視点を取り入れた施設環境の改善等を目的とし、以下のような内容を含みます：

- (1) 学校の中で「好きな場所、安心できる場所」
- (2) 学校の中で、使いににくい物や場所
- (3) 学校の中で、直してほしいところ
- (4) 学校生活の中で、あったらいいもの
- (5) 学校に、通学しているときに危ない場所

＜今後の実施に向けて＞

アンケートは一人一台端末を活用して行います

各校での実施判断は校長に委ねられますが、子どもたちの声を教育環境に活かすという趣旨にご賛同いただけるよう、働きかけをお願いしたいと思います。

実施時期の関係から小学2年生～中学3年生を想定しています。

（※前回同様、実施学年については各校で判断することとします。）

実施に向けた準備や支援については、事務職員学校間連携会議がサポートします。

子どもアンケートをさらに定着させるために・・・（案）

「いしかり子どもアンケート」と子ども政策課との連携について（案）

2026年7月に実施を予定している「いしかり子どもアンケート」について、石狩市子ども政策課との連携（タイアップ）を図る方向で検討していきたいと考えています。

＜子ども政策課との連携の目的と意義＞

このアンケートは、学校施設や学習環境に関する子どもたちの声を直接聞き取り、学校づくりに活かすことを目的としたものです。

2022年度・2024年度の実施を通じて、子どもたちの率直な意見が学校環境の改善に役立てられてきました。

今回、子ども政策課との連携を図ることで、以下のような効果が期待されます：

- ・石狩市子どもの権利条例（2025年施行）との整合性が強まり、アンケートの意義がより明確になる
- ・学校内だけでなく、地域や市政全体に子どもの声を届けるルートが広がる
- ・通学路の安全や居場所づくりなど、教育以外の分野とも連携した改善提案が可能になる
- ・子どもたちの声を尊重する姿勢を、市全体の取り組みとして発信できる

<今後の進め方>

今後、子ども政策課にこのとりくみを説明し、理解を得た上でアンケート実施に関する後援名義の付与や結果の共有・活用方法について調整をすすめていければと考えます。

また、子どもの権利月間（11月）との連動や、広報・啓発活動への展開も視野に入れていければとも思います。

<お願い>

各校でのアンケート実施にあたっては、引き続き学校長の判断に委ねられますが、子ども政策課と連携が図ることができれば、市全体で子どもの声を受け止める仕組みづくりが一歩進むことになります。

事務職員としてもこれまで以上に子どもの視点を意識した環境整備に取り組んでいただければ幸いです。

子ども政策課へのタイアップに向けての説明文書（案）

石狩市子ども政策課様

日頃より、子どもたちの健やかな育ちと権利の保障にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議では、「いしかり子どもアンケート」の2026年度実施に向けた準備を進めております。

このアンケートは、学校施設や学習環境に関する子どもたちの声を直接聞き取り、学校づくりに反映させることを目的とした取り組みです。

<これまでの実施と成果>

- ・2022年度（2023年2月）に初回を実施し、全市全校で60%を超える回答率を得ました。
- ・2024年度（2024年10月）には、実施校を限定しながらも、アンケート項目の改善や実施時期の見直しを行い、より子どもの実感に即した回答を得ることができました。

回答からは、教室・図書室・保健室などの安心できる場所、トイレや水道設備の改善要望、通学路の危険箇所など、子どもたちの生活実感に基づいた具体的な意見が多く寄せられました。

<子ども政策課との連携のお願い>

本アンケートの趣旨は、石狩市子どもの権利条例に掲げられた「意見を表明し、参加する権利」を具体化するものであり、条例の理念と深く関わっています。

つきましては、以下のような形で子ども政策課とのタイアップをご検討いただけないかと考えております：

- (1) アンケート実施に関する後援・協力名義の付与
- (2) アンケート結果の共有と活用に関する意見交換
- (3) 必要に応じて、子どもの権利月間（11月）との連動や、広報・啓発活動への展開

子どもたちの声をまちづくりに活かすために、教育現場と行政が連携して取り組むことは、条例の実効性を高めるうえでも大きな意義があると考えております。

ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひご検討いただき、ご意見をいただけますと幸いです。
どうぞよろしくお願ひいたします。

4. 実践交流

5. 連絡事項

(1) 2025年度石狩市学校間連携会議冬季研修会

日時 2025（令和7）年12月26日（金）
9:30～16:00

会場 札幌エルプラザ4F 大研修室A
(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ)

内容 ①2026「いしかり子どもアンケート」の実施に向けて
※実施に向けての行程や他団体とのかかわり方、アンケート項目や集計方法などを検討します。
②保護者負担を公費化するとりくみをさらにすすめるために
※公費化をすすめるための共通理解を深め、とりくみを前進させるためのワークショップを行います。
③「学校事務×コンサルティング」（仮）
講師：○○ ○○さん（函館市立五稜郭中学校）
④日常の学校・教育環境整備を交流しよう！again！（仮）
(参加者による実践交流を予定しています)

(2) その他